

# 課題を追う

◎2

「事業拡大に向け、地元企業との協力を検討する」。横手市の工業団地に新工場を建設した自動車部品製造・大橋鉄工（愛知県北名古屋市）の大橋雅史社長(53)が、2月下旬の竣工式で意気込みを語った。

大橋鉄工はトヨタグループに直接製品を納入する「1次サプライヤー」。式典にはトヨタ自動車の顧問や専務役員、トヨタ自動車東日本社長らトヨタグループの役員も出席し、県内の関係者は「本県企業が自動車産業に参入する好機になる」と期待

## 産業育成

する。

トヨタの1次サプライヤーの県内進出は初めて。2月の新工場稼働までに取引が決まった県内企業はないものの、受注を指し積極的に交渉を進める県内企業があり、波及効果が注目される。

**製造品出荷額** 14年の全国の製造品出荷額は305兆1400億円で、3年連続増。リーマン・ショックと東日本大震災で落ち込んだが、回復基調にある。本県の順位は43位で、東北では7年連続最下位。ここ20年で出荷額が最高だった1997年の全国順位は38位、東北では5位だった。

19億円と5%にとどまる。

市は、隣県と高速道路でつながり交通の便が良く、県内企業の新エネルギー、医療福祉、情報 中には「他県の企業と受注競争

# 企業間の連携不可欠

工業統計調査によると、本県と並ぶ成長分野と位置付け、関連企業の育成を目指している。2014年製造品出荷額(従業員4人以上、加工賃など含む)は1兆2149億円。うち主力の電子部品・デバイスは317億円で26%を占め、自動車や航空機部品など輸送用機械は6



は、企業間の連携が不可欠だと指摘。「他分野の企業と連携し、

大橋鉄工の新工場竣工式で内部を見学する県や企業関係者。横手市の横手第2工業団地

付加価値の高い部品を作った。価格面で競争できる力を付けたら必要がある」と話す。県は、地域に中核企業を育てて周辺業者の技術や生産性の向上につなげ、県内でのサプライチェーン(部品の

(羽生恭子)